



武道家 風間 健さん

かざま・けん 1943年愛知県生まれ。本名・筒井稔。61年総合空手選手権大会優勝。63年四国総本山少林寺に入僧。65年少林寺拳法名古屋中央道院設立。愛知学院大学、中京女子短期大学に少林寺拳法部設立。69年キックボクシング東洋ミドル級チャンピオン。ジャパンアクションクラブ設立。72年「ドラゴンを消せ」準主演でブルース・リーと共演。76年ワールドコンタクトプロ空手初代世界ミドル級チャンピオン。81年第1回国際アジアンピックのジャパンスピリット代表として「武心道・気練」を今上天皇、皇后両陛下(当時は皇太子御夫妻)御臨席のもと披露。その後、日米文化交流武道日本代表、日本・ハンガリー文化交流武道日本代表などを歴任。95年青少年育成修練センター「気練・武心道」設立。その他、2003年、モンゴル国OTGONTENGER UNIVERSITY 客員教授などを歴任。12年ジャパン・アフリカ経済文化交流協会設立。

「武心道」による教育に奔走

WHO'S WHO

「強面のひとほど、情に深く優しい、そしてユーモアがある」。時代劇俳優の里見浩太朗さんが、強面の俳優をよくそう評していた。武道家で文京区に「武心道」という道場を構える風間健さん。

「武心道」とは、武道を通して心を学ぶというもので、従来言われている武士道より現代的にしたもので、風間さんは「身分に関係のない人類道、人間道でなければならぬ。それを通して実践する」ことを提議。さらに「武道教育の根底にあるものは、あらゆる人間教育論の基本にあるべきこと。教育することを通じて、指導者も共に学ぶ」ことを重視している。

会った時、「強面だな」と一瞬身が引き締まる思いで、冒頭の里見さんの言葉の思い出し。だが、話し始めると実に人情に厚く、情熱的で雄弁。その壮大な夢に思わず引き込まれた。現在、風間さんは武道家としての活動のほかにも、モンゴルを中心に同国と日本の交流の懸け橋を積極的に行っている。

さらに今年からは、武道を教えるとともに教育者としてもアフリカに活動の場を広げ、ジャパン・アフリカ経済文化交流協会を設立しアフリカにも足を運ぶなど、今年からは、武道を教えるとともに教育者としてもアフリカに活動の場を広げ、ジャパン・アフリカ経済文化交流協会を設立しアフリカにも足を運ぶなど、今年からは、



と精神的だ。まさに自身で提唱する「武心道」を園内だけでなく、世界で実践しようとしている。「今、教育を目的にアフリカに、ジャパントウンを造ろうと思っています。日本がいざという時に、移住するところがあればいいでしょう。コンゴ民主共和国の高官から、首都キンシャサに広大な土地を用意したので園に来てほしい、と言われた。これから打ち合わせをしないと」と忙しそうに、それでいて嬉しそうな表情が印象的だった。

風間さんは、東京都ほど館といた総合的な教育を模索している。また、東京の道場では積極的にアフリカからの留学生や駐在関係者を受け入れ指導している。「彼らは純粋ですよ。先入観はなく理屈はいらない。ただ教育の機会がない。餓などで苦しむアフリカで



JARCA (ジャリカ) ジャパン・アフリカ経済文化交流の集い Japan-Africa Economic and Cultural Association 文京区ジャパン・アフリカ経済文化交流協会

の自身の夢を語った。「彼らは、食べることに精いっぱいなので、教育と評がある道隆さんについて訊ねると、「いや、厳し過ぎましたね。親としてはどうか」とこれまでの武道家、教育者としての表情からは一転して苦笑いを浮かべ、照れくさそうにしていたのが印象的だった。

風間さんによると、道場で礼儀に対して非常に厳しく指導し、時には竹刀を使った厳しいものだったという。「根みみしたいのがあるのかも知れないですね、一言あるような感じですが、親としては済まなかったなと思います」と振り返る。その姿は、ひとりの男親としての面をのぞかせる。「不器用なので、ちょっと心配です」とも。 愚直なまでに演技に集中する息子の姿に「もう少し要領がいいといんですけどね」と心配する。それでも「尊敬していますよ」と頬を緩ませた。 武道家として、教育者として国際的に活躍する風間さんの姿は頼もしく映る。

ベン・佐野富成
カメラ・加藤玲和